

平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月27日

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ 上場取引所 東
 コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03-3562-7521
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	13,511	6.4	444	△18.9	419	△18.7	208	△23.8
25年8月期第3四半期	12,694	6.3	548	0.1	516	3.5	273	△1.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年8月期第3四半期	82.49		81.11					
25年8月期第3四半期	108.28		107.75					

(注) 平成25年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成25年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	9,421	2,181	22.9
25年8月期	8,344	2,000	23.8

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 2,160百万円 25年8月期 1,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,158	9.8	610	1.7	575	2.9	315	4.8	124.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年8月期3Q	2,530,000株	25年8月期	2,530,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年8月期3Q	—株	25年8月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年8月期3Q	2,530,000株	25年8月期3Q	2,530,000株
----------	------------	----------	------------

(注) 平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4頁「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第3四半期累計期間	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和策により、景気は回復基調で推移しているものの、為替の影響による輸入物価の上昇、消費税増税に伴う個人消費の落ち込み懸念等もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社は、お客様に感動を与えるプレゼント選びの場を提供する「アニバーサリーコンセプトショップ」という独自のサービスを基本とし、贈る人のときめきにつながるような魅力ある商品の拡充と商品鮮度の管理徹底に努めるとともに、お客様が何度でも足を運びたくなるような質の高い「おもてなしの接客」に努めてまいりました。

商品施策といたしましては、粗利率低下傾向の要因になっていた高額商品への依存を是正するため、値ごろ感のある価格で粗利率の高い商品の拡充を進めました。また、当社オリジナルブランド商品(ハッピーキャンドル)については、一層のアイテム増加と定番化への取り組みを行いMD(マーチャンダイジング)の精度向上に努めるとともに、財布・小物類に新シリーズを導入する等の施策によりブランド強化に努めてまいりました。

販売活動の施策といたしましては、新店オープンセールやショッピングセンターのセール企画と連動した販売促進活動に加えて、客数増加に向けた施策を強化し、新規顧客の開拓と固定客作りに努めてまいりました。

店舗展開といたしましては、3月に石巻店(宮城県)、和歌山店(和歌山県)、天童店(山形県)の3店舗を新規出店いたしました。和歌山県、山形県へは当社といたしまして初の出店となります。これにより、当第3四半期末の店舗数は57店舗となりました。また、直方店(福岡県)、札幌店・釧路店・帯広店・北見店(北海道4店舗)、新居浜店(愛媛県)、神戸店(兵庫県)の改装を行いました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事開催や店頭MD・提案販売の強化に努め売上高2,288,818千円、時計は高額ブランド時計に消費税増税の影響が大きく見られたものの、国産時計は増税後も堅調に推移し売上高3,361,602千円、バッグ・小物は4月以降低価格商品等の展開を充実させ売上高7,860,045千円、その他は売上高1,130千円となりました。

3月度は駆け込み需要により売上高、売上総利益ともに前年を大きく上回る結果となりました。4月度以降においてはその反動がみられたものの、徐々に回復の兆しがみられております。

今後につきましては、引き続き商品価格帯の見直しを図りつつ、オリジナルブランド商品の開発を強化するとともに、日本に直営店・代理店のない新ブランドを含む新たな商品の取扱いを開始する等の施策により、収益力の向上に取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高13,511,597千円(前第3四半期累計期間比6.4%増)、営業利益444,425千円(同18.9%減)、経常利益419,311千円(同18.7%減)、四半期純利益208,708千円(同23.8%減)となりました。

㈱ハピネス・アンド・ディ(3174)平成26年8月期第3四半期決算短信(非連結)

なお、当社の業績は、年末年始商戦、とりわけクリスマス時期を中心とした12月の年末商戦のウエイトが高くなっているため、第2四半期に偏重しております。

当社の平成24年8月期(自平成23年9月1日至平成24年8月31日)、平成25年8月期(自平成24年9月1日至平成25年8月31日)および平成26年8月期(自平成25年9月1日至平成26年8月31日)における四半期の売上高および売上総利益は下記のとおりであります。

(単位:百万円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
平成24年8月期	売上高 (構成比)	3,174 (20.3%)	5,168 (33.1%)	3,589 (23.0%)	3,697 (23.6%)	15,630 (100.0%)
	売上総利益 (構成比)	808 (20.8%)	1,289 (33.3%)	902 (23.3%)	876 (22.6%)	3,876 (100.0%)
平成25年8月期	売上高 (構成比)	3,128 (18.9%)	5,519 (33.4%)	4,046 (24.5%)	3,841 (23.2%)	16,536 (100.0%)
	売上総利益 (構成比)	793 (19.2%)	1,378 (33.3%)	1,019 (24.7%)	941 (22.8%)	4,132 (100.0%)
平成26年8月期	売上高 (構成比)	3,452 (—)	5,792 (—)	4,266 (—)	— (—)	— (—)
	売上総利益 (構成比)	818 (—)	1,411 (—)	1,058 (—)	— (—)	— (—)

(注) 上記売上高および売上総利益には、消費税等を含んでおりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,610,339千円となり、前事業年度末と比較して798,528千円増加しております。これは主として、現金及び預金が308,838千円減少したものの、新規出店等で商品が1,197,844千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,811,570千円となり、前事業年度末と比較して278,477千円増加しております。これは主として、新規出店のため、建物が113,673千円、工具、器具及び備品が95,841千円、敷金及び保証金が48,420千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,836,533千円となり、前事業年度末と比較して532,247千円増加しております。これは主として、支払手形及び買掛金が445,101千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,403,458千円となり、前事業年度末と比較して363,815千円増加しております。これは主として、償還により社債が70,000千円減少したものの、新規借入れにより長期借入金が増加、割賦による新店等の工事費用支払いによりその他が202,330千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,181,917千円となり、前事業年度末と比較して180,943千円増加しております。これは主として、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月11日に公表いたしました平成26年8月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 8 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成26年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,681,555	2,372,716
売掛金	1,052,860	931,387
商品	2,856,504	4,054,348
貯蔵品	95,199	93,114
その他	125,690	158,772
流動資産合計	6,811,810	7,610,339
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	452,096	565,769
構築物 (純額)	147	37
工具、器具及び備品 (純額)	212,713	308,555
リース資産 (純額)	10,052	31,919
有形固定資産合計	675,010	906,281
無形固定資産		
リース資産	24,106	18,194
その他	16,028	13,148
無形固定資産合計	40,134	31,343
投資その他の資産		
敷金及び保証金	451,410	499,830
関係会社株式	88,159	88,159
その他	281,014	288,141
貸倒引当金	△2,636	△2,186
投資その他の資産合計	817,947	873,944
固定資産合計	1,533,092	1,811,570
資産合計	8,344,903	9,421,909

(株)ハピネス・アンド・ディ (3174) 平成26年 8 月期第 3 四半期決算短信 (非連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 8 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成26年 5 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,346,046	1,791,148
1年内返済予定の長期借入金	1,264,668	1,372,458
1年内償還予定の社債	247,600	119,500
未払法人税等	125,955	99,177
賞与引当金	66,751	101,377
資産除去債務	2,928	—
その他	250,334	352,872
流動負債合計	3,304,285	3,836,533
固定負債		
社債	100,000	30,000
長期借入金	2,808,576	3,034,529
資産除去債務	71,897	77,430
その他	59,169	261,499
固定負債合計	3,039,643	3,403,458
負債合計	6,343,928	7,239,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,530	324,530
資本剰余金	311,880	311,880
利益剰余金	1,347,865	1,518,624
株主資本合計	1,984,275	2,155,034
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,233	5,911
評価・換算差額等合計	6,233	5,911
新株予約権	10,465	20,971
純資産合計	2,000,974	2,181,917
負債純資産合計	8,344,903	9,421,909

(2) 四半期損益計算書
第 3 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 5 月31日)
売上高	12,694,401	13,511,597
売上原価	9,502,601	10,222,781
売上総利益	3,191,799	3,288,816
販売費及び一般管理費	2,643,383	2,844,391
営業利益	548,416	444,425
営業外収益		
受取利息	688	1,203
受取配当金	346	398
受取手数料	447	509
業務受託料	—	2,530
受取保険金	2,920	2,497
その他	417	1,749
営業外収益合計	4,819	8,889
営業外費用		
支払利息	29,276	29,734
社債利息	2,594	1,237
その他	5,183	3,031
営業外費用合計	37,054	34,002
経常利益	516,181	419,311
特別利益		
固定資産売却益	—	42
特別利益合計	—	42
特別損失		
固定資産廃棄損	5,699	3,852
減損損失	—	7,530
事業譲渡損	—	2,740
特別損失合計	5,699	14,123
税引前四半期純利益	510,481	405,230
法人税、住民税及び事業税	244,286	209,281
法人税等調整額	△7,773	△12,759
法人税等合計	236,512	196,521
四半期純利益	273,969	208,708

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計およびバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。